

皆様おはようございます。

本日、ここに議員各位の御参集をお願い申し上げ、平成30年 第5回江田島市議会を開会するに当たりまして、一言、御挨拶を申し上げます。

議員各位におかれましては、平素から市政運営に対し、格別の御理解と御協力をいただきまして、深く感謝申し上げます。

また、市民の皆様には早朝から、定例会の傍聴にお越しをいただき、心からお礼を申し上げます。ありがとうございます。

初めに、11月28日付で職員を懲戒処分したことにつきまして、議員の皆様をはじめ、市民の皆様からの信頼を裏切ることとなりました。まずもって心から、お詫び申し上げます。誠に申し訳ございませんでした。

当該職員は、当然のことながら猛省、強く反省をしております。しかしながら、管理監督者でございます、私、市長をはじめ副市長以下、部長、課長はもちろんのこと、全職員も自分のことととらえ、綱紀粛正、再発防止に向け、不退転の覚悟でこういった事態を生じさせないように、全力を挙げてまいります。

この信頼回復には、「仕事で返すこと」が何よりも大切であると思っております。公務員倫理の徹底や職員教育に更なる力をいれ、改めて初心を忘れず、市の職員としての使命、「市民の喜びを増やし、悲しみを減ずること」を自覚し、信頼回復に傾注してまいりたい、このように考えております。

さて、今年も12月に入り、平成最後の師走を迎え、日を追うごとに寒さが増してまいりました。晩秋から初冬となり、大変あたたかい時期となってまいりました。

その晩秋の先月、11月14日に、来春、平成31年の春から囲碁の世界でプロの棋士となります、江田島町の大森らんさんとお会いをいたしました。若干16歳、厳しいプロの世界へ飛び込む勇気とその才能に敬意を表するものでございます。

本市には、古くには江戸から明治にかけて本因坊秀和（ほんいんぼうしゅうわ）氏の門に入り、囲碁の普及に当たられました石谷広策（いしがやこうさく）五段、また、明治から昭和の時代に活躍をし、日本棋院（にほんきいん）の理事長も務められました瀬越憲作（せごえけんさく）名誉九段、その後、その瀬越名誉九段の門をたたき、平成の今も現役で御活躍の三王裕孝（さんのうひろたか）九段など、著名な囲碁の先人がいらっしゃいます。そして、今、大森らんさんが、新元号の年に女流棋士として、囲碁の世界で、自らの可能性を信じ、未来へ羽ばたこうとしております。

このように、江田島市の囲碁の歴史は、過去から現在、そして未来へつながってまいります。

平成の大合併を経て誕生をいたしました江田島市も同様に、過去から脈々と続くこの恵み多き島を、未来へつなげていかなければなりません。

そうした思いをもちまして、私は、2年前の12月5日に、市民の皆様の御推挙をいただき、第3代江田島市長として、市政を担わせていただいております。4年という市長任期からいたしますと、ちょうど折り返し地点でございます。

そして、この2年間は、市民の皆様とのお約束であります、「住む人も、訪れる人も、「ワクワクできる島」えたじま」の実現を目指して、持てる力を出し切り、全力で市政運営に当たってまいりました。

私は、徹底して現場主義を通しておりまして、自分で見て、聞いて、そして判断することを心がけております。その判断基準は、「何がこの江田島市にとって最善なのか。」「市民の皆様にとって何が最善なのか。」でございます。そのために、なるべく多くの会合に足を運び、市民の皆様の声に耳を傾けて、内容によっては国や県にもお願いをし、スピード感をもって市政に当たっております。

そうした中、3つの重点テーマを掲げて、その具体的な取組を実施してきたところでございます。

振り返りますと、「しごとの創出」では、能美海上ロッジにかわる新ホテル等整備事業、遊休施設を活用した就労継続支援A型施設の誘致、「フード」を利用したサテライトオフィス事業など新たな雇用創出へのチャレンジなどがございます。

「子育てしやすい環境づくり」では、認定こども園や子育て支援センターの整備、通学費補助や奨学金返還支援などがございます。

「健康寿命の延伸」では「いきいき百歳体操」の全市展開や介護予防応援ポイント事業などを実施してまいりました。

市民の皆様からは「頑張っている姿が見える。」などとの声もいただくことがございます。しかしながら、本市最大の課題でございます人口減少対策は、残念ながら、すぐには花が咲きません。今は、いろいろな種類の種をまいているところでございます。

中国の詩人、陶淵明（とうえんめい）先生の詩の中に「力耕吾を欺かず」という言葉がございます。田畑を力を込めて耕せば、その田畑での実りは耕した人を欺かないというもので、つまり、自分が心を込めて力を尽くせば、望みどおりの結果がでるということでございます。

市長就任から折り返しまでの2年間は、力を込めて耕し、そこに種を植えてまいりました。3年目におきましては、種から芽へ、そして花へと育てていくこともしながら、「更なる挑戦の年」と位置付けまして、人口減少抑制に向け、諸問題にチャレンジをしていくための種を植え続けてまいる所存でございます。

海や山の豊かな恵み、そして心優しい市民の皆様という恵み、数多くある江田島市の恵み、それが宝のように輝く、魅力あふれる江田島市を、私たちの次の世代に着実に引き継いでいく責任が、私たちにはございます。

議員各位の一層の御支援と御協力を是非お願いいたします。

さて、今議会では、江田島市市民センター等設置及び管理条例の一部を改正する条例案など、当面する市政の重要案件につきまして御審議をお願いすることといたしております。

これら各案件につきましては後ほど御説明を申し上げます。何とぞ十分な御審議をいただき、議決を賜りますようお願いを申し上げます。